

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年7月14日

【四半期会計期間】 第12期第3四半期(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

【会社名】 株式会社カーブスホールディングス

【英訳名】 CURVES HOLDINGS Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 増本 岳

【本店の所在の場所】 東京都港区芝浦三丁目9番1号

【電話番号】 03-5418-9922

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 松田 信也

【最寄りの連絡場所】 東京都港区芝浦三丁目9番1号 芝浦ルネサイトタワー11F

【電話番号】 03-5418-9922

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 松田 信也

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第12期 第3四半期 連結累計期間	第11期
会計期間		自 2019年9月1日 至 2020年5月31日	自 2018年9月1日 至 2019年8月31日
売上高	(千円)	19,559,007	28,036,238
経常利益	(千円)	1,732,533	5,242,595
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	1,122,973	3,706,748
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	1,241,480	3,396,918
純資産額	(千円)	8,624,462	7,742,025
総資産額	(千円)	33,120,204	34,224,810
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	13.09	60.89
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	-	-
自己資本比率	(%)	26.0	22.6

回次		第12期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 2020年3月1日 至 2020年5月31日
1株当たり四半期純損失()	(円)	10.26

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 当社は、第11期第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表を作成していないため、第11期第3四半期連結累計期間に係る主要な経営指標等の推移については記載していません。

4. 第11期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であったため、期中平均株価について把握できないため記載していません。

5. 第12期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

直近の有価証券届出書に記載した「事業等のリスク」について、直近の有価証券届出書の提出日後、本四半期報告書提出日現在までの間において追加すべき事項が生じております。

また、以下の見出しに付された項目番号は、直近の有価証券届出書における「第二部 企業情報 第2 事業の状況 2 事業等のリスク」の項目番号に対応したものです。なお、以下の文中における将来の事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

〔追加事項〕

(5) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による事業リスクについて

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、当社グループでは専門の医師の方々や行政機関等より情報を収集し、2020年1月より店舗（直営店、FC店）内外での感染予防のための様々な取り組みを徹底して参りました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の国内および欧州における感染拡大およびそれに伴う経済活動、消費活動の停滞による新規入会数減少や退会数増加による会員数の減少、緊急事態宣言の発令を受けての店舗の休業や、特別休会制度（感染による重症化リスクが高い方、基礎疾患をお持ちの方、ご高齢の方などに感染が収束するまでの期間、会費はいただかずに休会していただく措置）によるロイヤルティなどの収入の減少、また、新規出店の延期もしくは中止による売上高の減少や、フランチャイズ加盟店への支援コストなどの増加が想定されます。

今後、新型コロナウイルス感染症の収束時期によっては当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローに影響を及ぼす可能性があります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当社は、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の状況

当社グループ（当社及び連結子会社）は主力事業である「女性だけの30分健康体操教室 カーブス」などを通じて健康長寿社会の実現に寄与し、超高齢社会の課題の解決に貢献する「地域の健康インフラ」「社会課題解決型事業」として、店舗数の拡充及び顧客サービス強化による会員の満足度向上に努めてまいりました。

当第3四半期連結会計期間（2020年3月～2020年5月）は新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴う政府、自治体からの各種要請等を踏まえ、2020年3月8日～15日及び4月～5月末にかけて店舗の臨時休業を行っております。緊急事態宣言下における活動量の低下により、免疫力低下、生活習慣病悪化といった「健康二次被害」の不安も大きくなる中、afterコロナwithコロナを見据えた顧客サポート、加盟店支援に取り組んでまいりました。

これらによって、当第3四半期連結会計期間末の国内カーブス店舗数（メンズ・カーブスを除く）は前連結会計年度末比28店舗増加し（前連結会計年度末比1.4%増）2,019店舗（内グループ直営店65店舗）に、会員数は72千人減少し749千人（同比8.9%減）となりました。但し、特別休会制度の利用会員が当第3四半期連結会計期間末で203千人おり、当該会員には対象期間の会費を全額返金しているため、実質的な会員数は当第3四半期連結会計期間末545千人となっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下の通りとなりました。

（売上高）

当第3四半期連結累計期間の売上高は、195億59百万円となりました。

（営業利益）

当第3四半期連結累計期間の営業利益は、17億28百万円となりました。

（経常利益）

当第3四半期連結累計期間の経常利益は、支払利息等を計上した一方、為替差益が発生した結果、17億32百万円となりました。

（親会社株主に帰属する四半期純利益）

当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税、住民税及び事業税を7億46百万円計上したこと等により、11億22百万円となりました。

なお、当社グループはカーブス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

財政状態の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11億4百万円減少し331億20百万円(前連結会計年度末比3.2%減)となりました。

流動資産は2億71百万円減少し110億9百万円(同比2.4%減)となりました。これは主に、商品が8億73百万円増加した一方で、現金及び預金が12億98百万円および受取手形及び売掛金が5億66百万円減少したことなどによるものです。

有形固定資産は0百万円減少し3億22百万円(同比0.3%減)となりました。

無形固定資産は7億47百万円減少し213億36百万円(同比3.4%減)となりました。これは主に、商標権が5億84百万円、その他の無形固定資産が1億73百万円およびのれんが44百万円減少したことなどによるものです。

投資その他の資産は85百万円減少し4億51百万円(同比15.9%減)となりました。これは主に、繰延税金資産が88百万円減少したことなどによるものです。

固定資産の総額は8億33百万円減少し221億10百万円(同比3.6%減)となりました。

(負債)

流動負債は4億17百万円減少し76億1百万円(同比5.2%減)となりました。これは主に、未払金が4億70百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が4億23百万円および未払法人税等が3億65百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は15億69百万円減少し168億94百万円(同比8.5%減)となりました。これは主に、長期借入金が13億80百万円および繰延税金負債が1億89百万円減少したことなどによるものです。

負債の総額は19億87百万円減少し244億95百万円(同比7.5%減)となりました。

(純資産)

純資産は8億82百万円増加し86億24百万円(同比11.4%増)となりました。これは主に、利益剰余金が8億93百万円減少した一方で、資本金が8億28百万円および資本剰余金が8億28百万円増加したことなどによるものです。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当社グループは、国立大学等の研究機関と共同で健康や運動による脳機能への効果測定などを行っております。当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は14百万円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当社は、当社グループの今後の積極的な事業展開を推進していくために必要な資金需要に対して、安定的かつ機動的な資金調達体制の構築を目的として、2020年3月27日付で株式会社三菱UFJ銀行との間でコミットメントライン契約を締結いたしました。

契約概要

(1) 契約締結先	株式会社三菱UFJ銀行
(2) 契約形態	リボルビング・クレジット・ファシリティ契約
(3) 借入極度額	50億円
(4) 契約締結日	2020年3月27日
(5) 契約期間	1年間
(6) 資金用途	運転資金
(7) 担保等の有無	以下の3社が連帯保証しております。 株式会社カーブスジャパン 株式会社ハイ・スタンダード Curves International, Inc.

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	320,000,000
計	320,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年5月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年7月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	93,857,493	93,857,493	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は100株であります。
計	93,857,493	93,857,493		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年3月1日 (注)1	2,415,000	84,713,284	828,646	848,664	828,646	828,664
2020年3月6日 (注)2	9,144,209	93,857,493	2	848,666	2	828,666

(注)1.有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)

発行価格 750円

引受価額 686.25円

資本組入額 343.125円

2.新株予約権の行使による増加であります。

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年2月29日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 82,298,200	822,982	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 84		
発行済株式総数	82,298,284		
総株主の議決権		822,982	

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年9月1日から2020年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、ひびき監査法人による四半期レビューを受けております。

3 最初に提出する四半期報告書の記載上の特例

当四半期報告書は、「企業内容等開示ガイドライン24の4の7-6」の規定に準じて前年同四半期との対比は行っておりません。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,350,073	4,051,292
受取手形及び売掛金	3,780,423	3,214,393
商品	898,663	1,772,065
原材料及び貯蔵品	2,154	11,099
その他	1,346,906	2,092,411
貸倒引当金	97,098	131,423
流動資産合計	11,281,123	11,009,838
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	211,560	209,079
工具、器具及び備品(純額)	111,578	113,196
有形固定資産合計	323,138	322,275
無形固定資産		
のれん	1,456,101	1,411,279
商標権	19,020,017	18,435,388
ソフトウェア	632,543	688,638
その他	974,676	800,919
無形固定資産合計	22,083,339	21,336,225
投資その他の資産		
敷金及び保証金	245,807	247,430
繰延税金資産	273,159	184,908
その他	24,014	23,317
貸倒引当金	5,772	3,790
投資その他の資産合計	537,209	451,864
固定資産合計	22,943,687	22,110,365
資産合計	34,224,810	33,120,204

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,106,050	1,682,438
1年内返済予定の長期借入金	1,840,000	1,840,000
未払金	493,465	963,806
未払法人税等	940,561	575,419
預り金	1,801,177	1,905,352
その他	837,426	634,149
流動負債合計	8,018,682	7,601,165
固定負債		
長期借入金	14,260,000	12,880,000
繰延税金負債	4,153,324	3,963,648
資産除去債務	50,778	50,927
固定負債合計	18,464,102	16,894,576
負債合計	26,482,785	24,495,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,018	848,666
資本剰余金	18	828,666
利益剰余金	7,579,658	6,686,324
自己株式	-	32
株主資本合計	7,599,694	8,363,625
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	142,331	260,837
その他の包括利益累計額合計	142,331	260,837
純資産合計	7,742,025	8,624,462
負債純資産合計	34,224,810	33,120,204

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)
売上高	19,559,007
売上原価	12,163,357
売上総利益	7,395,649
販売費及び一般管理費	5,667,164
営業利益	1,728,485
営業外収益	
受取利息	135
為替差益	50,396
その他	10,258
営業外収益合計	60,790
営業外費用	
支払利息	41,385
その他	15,356
営業外費用合計	56,742
経常利益	1,732,533
特別損失	
固定資産除却損	4,249
特別損失合計	4,249
税金等調整前四半期純利益	1,728,283
法人税、住民税及び事業税	746,343
法人税等調整額	141,033
法人税等合計	605,310
四半期純利益	1,122,973
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,122,973

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 2019年9月1日
至 2020年5月31日)

四半期純利益	1,122,973
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	118,506
その他の包括利益合計	118,506
四半期包括利益	1,241,480
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,241,480
非支配株主に係る四半期包括利益	-

【注記事項】

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大及びそれに伴う緊急事態宣言の発出等により、当社グループは店舗の臨時休業、フランチャイズ加盟店への支援策の実施等大きな影響を受けました。現時点では、店舗の営業は再開しており休業期間と比較して回復傾向にあるものの、今後2021年8月期の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、会計上の見積りを行っております。

しかしながら、本感染症の収束時期は不透明であり、影響が長期化し上述の仮定が見込まれなくなった場合は、将来において損失の発生する可能性があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却費は、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
減価償却費	1,198,212千円
のれんの償却額	58,749千円

(株主資本等関係)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月28日 定時株主総会	普通株式	2,016,307	24.5	2019年8月31日	2019年11月29日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当社は、株式会社東京証券取引所より上場承認を受け、2020年3月2日をもって同取引所市場第一部に上場いたしました。この株式上場にあたり、2020年3月1日を払込期日とする公募増資による払込を受け、新株式2,415,000株の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ828,646千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が848,666千円、資本剰余金が828,666千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、カーブス事業のみの単一セグメントのため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
1株当たり四半期純利益(円)	13.09
(算定上の基礎)	
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,122,973
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	1,122,973
普通株式の期中平均株式数(株)	85,766,037

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(資金の借入)

当社は、2020年6月15日開催の取締役会において、金融機関との間でシンジケート方式タームローン（一括実行）契約を締結することを決議し、2020年7月3日に実行いたしました。その概要は次のとおりであります。

1. シンジケートローン契約の内容

(1) 組成金額	総額50億円
(2) 契約形態	シンジケート方式タームローン（一括実行）
(3) 契約締結日	2020年6月30日
(4) 実行日	2020年7月3日
(5) 満期日	2025年6月30日
(6) 返済方法	2021年9月30日を初回とし、3ヶ月毎の約定均等返済
(7) アレンジャー	株式会社三菱UFJ銀行
(8) エージェント	株式会社三菱UFJ銀行
(9) 参加金融機関	株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行、株式会社群馬銀行
(10) 借入金利	基準金利（3ヶ月TIBOR）+0.25%
(11) 保証人	株式会社カーブスジャパン
(12) 財務制限条項	決算期末日の連結貸借対照表の純資産の部の金額を、当該決算期の直前の決算期末日の75%の金額以上に維持する。[初回判定：2022年8月終了の決算期] 2期連続して決算期に係る連結損益計算書上の経常損失を計上しない。[初回判定：2022年8月終了の決算期]（初回判定対象：2021年8月終了の決算期及び2022年8月終了の決算期）

2. シンジケートローン契約の目的

資金使途につきましては、グループ事業会社の長期運転資金に充当する予定です。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年7月14日

株式会社カーブスホールディングス
取締役会 御中

ひびき監査法人

代表社員 業務執行社員	公認会計士	小川	明
代表社員 業務執行社員	公認会計士	木下	隆志
業務執行社員	公認会計士	黒崎	浩利

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カーブスホールディングスの2019年9月1日から2020年8月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年9月1日から2020年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カーブスホールディングス及び連結子会社の2020年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。